

T/7

3/7/1

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2005 JPO &amp; JAPIO. All rts. reserv.

00228524

FLAP ARRANGED TO BE CAPABLE OF READILY OBSERVING SAFETY DEVICE

PUB. NO.: 53-030524 [JP 53030524 A]

PUBLISHED: March 22, 1978 (19780322)

INVENTOR(s): SUEHIRO FUMIO

APPLICANT(s): SUEHIRO FUMIO [000000] (An Individual), JP (Japan)

APPL. NO.: 51-104040 [JP 76104040]

FILED: August 30, 1976 (19760830)

?

### ⑪實用新案出願公開

## 昭53—23219

④公開 昭和53年(1978)2月27日

審查請求 未請求

(全 2 頁)

## ⑤4 鍵盤楽器の鍵タッチ機構

浜松市天王町176番地

⑦⑪出 願 人 日本楽器製造株式会社

浜松市中沢町10番1号

②実 願 昭51-104040

②出 願 昭51(1976)8月5日

⑦代理人 弁理士 山川政樹 外1名

⑦考案者 池端正巳

### ⑤⑦ 実用新案登録請求の範囲

鍵盤板の側面に挿通孔を形成し、この孔に雌ねじが形成されたリングを嵌着固定させると共に前記リングに重りを着脱自在に螺合させたことを特徴とする鍵盤楽器の鍵タッチ機構。

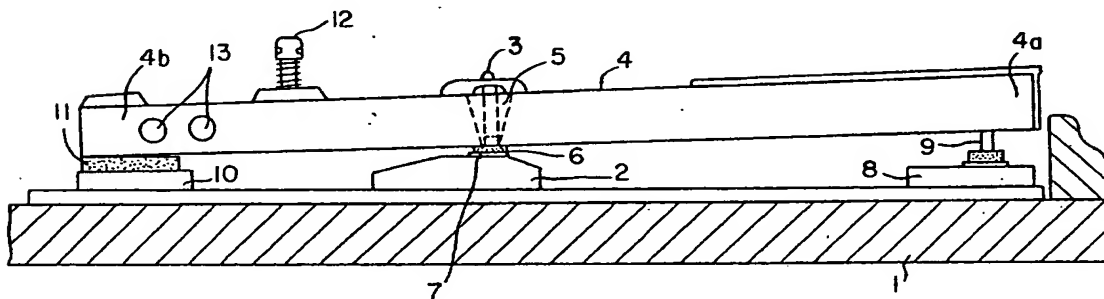
チ機構を示す概略構成図、第2図はこの考案に係る鍵タッチ機構の一実施例を示す要部分解斜視図、第3図a及びbは夫々重りの一実施例を示す断面図である。

20……鍵盤板、21a, 21b……挿通孔、  
22……雌ねじ、23……リング、24……雄ね  
じ、25……重り。

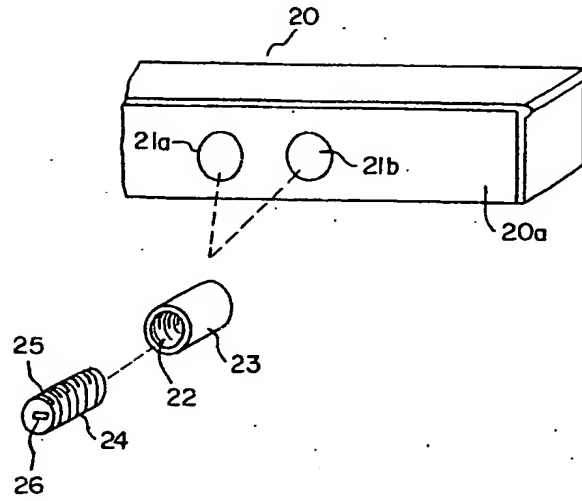
### 図面の簡単な説明

第1図は従来のグランドピアノにおける鍵タツ

第1図



第 2 図



第 3 図

